

日本政府は中国に弾圧の抗議を！ 連携して「自由と人権の弧」包囲網

「ウイグルで何が起きているのか？」という緊急シンポジウムが26日、午後6時45分から代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催され、約3時間にわたって真剣な討論が行われました。

主催したのは日本ウイグル協会で、パネリストはイリハム・マハムティ(世界ウイグル会議日本全権代表・日本ウイグル協会会長)、ペマ・ギャルポ(チベット文化研究所所長)、石平(評論家)、永山英樹(台湾研究フォーラム会長)、青山繁晴(独立総合研究所代表取締役社長)、西村幸祐(ジャーナリスト)の各氏。



日曜夜というタイミングにもかかわらず200人を超える人が参加しました

日曜夜の開催という条件に関わらず、この問題に関心の高い200人以上の参加者の前で、活発な意見表明、討論が交わされました。このパネリストは、ウイグル、チベット、支那中共、台湾など、支那中共の弾圧に晒されている当事者か、それに詳しい関係者、及び、ジャーナリスト二人を交えてのシンポジウムとなりました。

結論をひと言で言えば、現在チベットやウイグルで起きている支那中共の民族弾圧は、明日の台湾、明後日の日本の姿であり、決して人ごとではないこと。これらの国々と日本は連携して「自由と人権の弧」で支那中共を包囲し、国際社会に声を上げ続けることが重要であり、日本政府に抗議の声を上げるよう皆様の協力をお願いしたい、という事になると思います。

多くのカメラが入っていたので、シンポジウム全容の映像が間もなくyou tubeなどにアップされると思いますので、ここでは参加者に配布された「7.5ウルムチ事件」について、と題したA4で四ページにわたる日本ウイグル協会発表の資料の全文をご紹介します。



左からイリハム・マハムティ(世界ウイグル会議日本全権代表・日本ウイグル協会会長)、ペマ・ギャルポ(チベット文化研究所所長)、石平(評論家)の各氏

7・5ウルムチ事件について

2009年7月5日、ウルムチで事件が起きた。中国当局の発表では、武器を手にしたウイグル人が「暴動」を起こし、商店や車両に火をつけたという。中国政府は「暴動」は在外のウイグル組織である世界ウイグル会議がインターネットを通じて扇動した、計画的かつ組織的な犯罪であると主張している。

しかし、現地と外部との情報のやり取りが厳格に監視されている中で、どのようにして、外部の組織が1万人を越える「暴動」を計画、組織化できるであろうか。世界ウイグル会議はこのような扇動など行っていないと完全否定している。

またアメリカの国務省も「中国側の)そのような主張を裏付ける情報はない」と述べ、中国政府は根拠が無いままに世界ウイグル会議を批難しているとの見方を示している。

現地から寄せられた情報、また中国国外のメディアや香港のメディアの情報によると、当初はウルムチのウイグル人学生らが、6月26日の広東省の事件の犯人を逮捕するよう要求する平和的なデモから始まり、それに次第に人が合流し1万人の規模になったようである。



左から永山英樹(台湾研究フォーラム会長)、青山繁晴(独立総合研究所代表取締役社長)、西村幸祐(ジャーナリスト)の各氏

ネットで見られる動画でも、その集まった人々の様子が見られるが、掛け声が揃っているものといえば「ウイグル、ウイグル」と言うだけの、まったくデモ慣れしていない集団であり、「組織化」とは程遠いものであることが分かる。

ウイグル人が3人以上集まれば公安に通告されると言われる東トルキスタンにおいて、集団的な示威行動は文字通り「命がけ」の行為であると言える。デモ参加者は、現地政府の1000人を超える武装警官の投入によって、無差別な発砲で数百人が射殺され、さらに数人が装甲車でひき殺されるなど、激しく鎮圧されたのである。

学生が抗議した6月26日の広東省の事件とはどのようなものだったのか、また命を懸けてまで大勢の人々がデモに参加したのは何故なのか。報道に見られるような民族間の経済格差という理由だけでは説明できない、もっと根源的な問題がそこにはある。

強制移住による民族同化

6月26日に広東省韶関市の玩具工場で、多数の漢人従業員がウイグル人従業員を襲撃した。中国当局の発表によると、この襲撃事件で漢人、ウイグル人双方に数十人の負傷者が出、2名のウイグル人が死亡したとのことである。

しかし世界ウイグル会議が得た情報によると、200人のウイグル人が6000人の漢人の襲撃を受け、多数の死者を出したと言われる。中国政府は当初、この襲撃事件の起きた原因をうやむやにし、犯人を逮捕しようとしなかった。

そのために政府への抗議行動として7月5日のウルムチのデモが起きた。この7月5日のウイグル人の事件をきっかけに、政府は6月26日の広東省の襲撃事件の犯人を逮捕して厳罰で臨むと、方針転換することになった。

この事件が起きた玩具工場の代表は、事件の原因は、解雇された漢人の元従業員による嘘の情報によって扇動された漢人がウイグル人を襲撃したと証言している。しかし、今回の襲撃事件を起こした犯人を逮捕するだけで、この問題は解決するものではない。

直接には扇動された漢人の工員達が起こしたものであるだろうが、その背後には漢人による「少数民族」への差別意識があり、さらに根本的な原因としては、中国政府が行っているウイグル人への弾圧と、同化政策がある。

何故東トルキスタンから遠く離れた沿岸部の広東省にウイグル人の若者がいるのだろうか。彼らは集団で出稼ぎに来ていると

説明されるが、これはまったくの出鱈目である。2003年より中国政府は、東トルキスタンのウイグル人の若者数十万人を、中国の沿岸部の工場などへ強制的に連行しているのである。

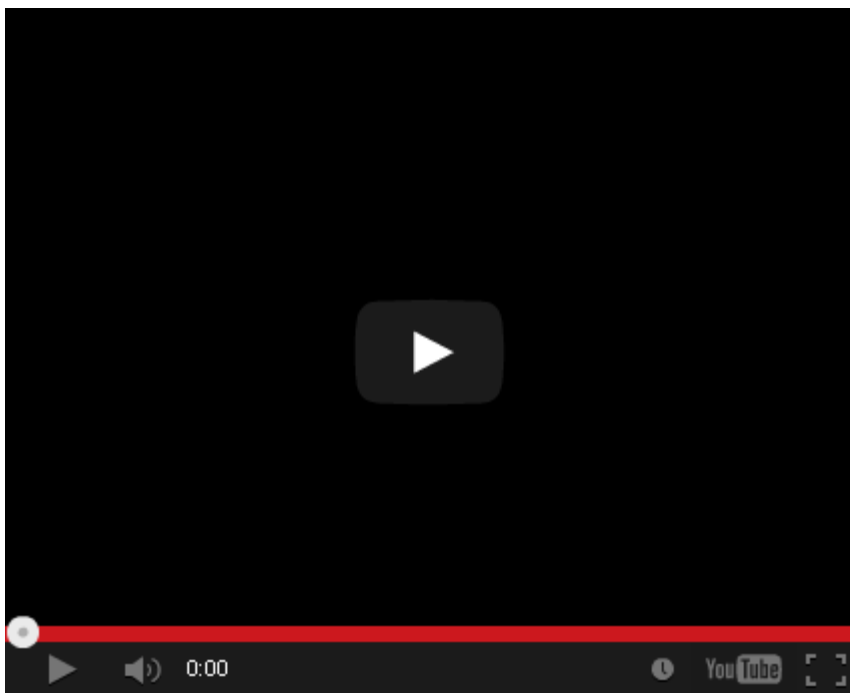
各地域で「出稼ぎ」に出るよう若者の数がノレマとして割り振られておりまた貧しい農村部の若者に仕事を斡旋するとの名目ではあるものの、実態は安価な労働力として奴隷のように酷使されている。

さらに女性であれば売春を強要されることもあるのである。強制連行されたウイグル人達は、政府機関や企業、一般の漢人らによって差別され、政治的にも脅迫され、収容所の囚人のように厳重な監視下に置かれているのである。

そもそもウイグル人の貧困を、地元での雇用によらずに、沿岸地域に移送させることによって解消しようとするのは何故なのだろうか。中国の支配下に入ってから、東トルキスタンには大勢の漢人が入ってきている。

60年前の総人口に占める漢人の割合は6%に過ぎなかったのが、現在ではほぼ半数を占めるまでに至っている。地元の要職は漢人によって占められ、ウイグル人は大学を卒業しても地元では仕事が出来ないのが現状である。

漢人の大量移住とウイグル人の若者の大量移出は、東トルキスタンの同化を目的として行われているとしか考えられない。



さまざまな方法による民族同化

また、強制移送されるウイグル人の若者達は、都市部ではなく東トルキスタン南部の農村からが大部分であると言われる。仕事が無く困窮しているのは都市部の大学を出た若者も同じであるが、何故農村部の若者の職業斡旋を優先させるのであろうか。

これは純粋なウイグル語やウイグル文化が残される地域がこの東トルキスタン南部の農村部だからであり、また教育レベルの低い彼らならば容易く手懐けられるとの目論見があるからではないのか。

また世界ウイグル会議総裁のラビア氏によると、若くて容姿端麗なウイグルの女性を大量に中国内地に移送しており、2006年から2010年で40万人を送る計画であるとのことである。

女性のみを大量に中国内地に送り込むというこは、ウイグル人と漢人の通婚を奨励し、ウイグル人同士の婚姻を妨げる意図があると思われる。このような人の移動による政策以外にも、さまざまな方法によってウイグル人は同化されようとしており、ウイグル人というものが地球上から抹殺されようとしているのである。

2000年より高等教育の場では漢語による教育が強制され、ウイグル語が排除されはじめた。数年前より、それまで漢人学校と同等の地位にあったウイグル人小中学校が相次いで漢人の学校と強制的に合併させられ、中国語ができない教師らは追放されている。現在では幼稚園から漢語による教育が取り入れられている。

また年間数千人から数万人の規模のウイグル人の中学生が親元から引き離され、中国内地の漢語学校で勉強しており、中国語で考え、中国文化に親しみ、中国の環境に慣れたウイグル人の子供を大量生産している。

民族の習俗などにも制限が加えられ、ウイグルの子供は信教の自由に制限が加えられている。18歳未満の子供はモスクに祈りにいくことも、宗教活動への参加も禁止されている。また公教育における宗教活動が禁止されており、断食月のときには学校の教師が見回りをし、きちんと日中に食事をしているかを確認しているのである。

またウイグル人の集まりは非合法であるとされ、地域のコミュニティの伝統的な集まりであ「マシュラブ」も、政府主催のもの以外は禁止されている。このような宗教教育や地域のコミュニティから引き離された若者達はモラルが低下し、さらにさまざまな抑圧や経済的な差別により、ドラッグに溺れてエイズに罹るなどの深刻な社会問題を生んでいる。



六人のパネリストの皆さん

現在の東トルキスタン

7月5日にウルムチで起きたデモが武装警察によって鎮圧された後、中国政府はウイグル人の暴動によって漢人が多数犠牲にあつたと、ことさらに漢人の被害を強調し、民族対立を煽った。

その結果7月7日には漢人による報復が起こった。報道された写真に写る漢人らは鉄パイプや手斧を持っているが、彼らは「デモ参加者」であるとされている。これら漢人の暴徒は道を歩くウイグル人を襲い、ウイグル人の商店を襲撃し、モスクに放火した。

しかし、当局はウイグル人に対してしたような激しい鎮圧は行っておらず、「民族」毎に違った対応をしている。素手で平和的な行進をしたウイグル人が「暴動」を起こし、武器を持った体格の良い漢人達は「デモ参加者」であるという現地政府の倒錯した公開情報は、そのまま日本のメディアでも採用されており残念なことである。

また、2008年3月のチベットで起きた騒乱のときに地域を封鎖し、外国人記者を現地から締め出したことで他国からの批判が集まったことからの教訓として、今回の7月5日のウノレムチ事件では一転して情報を公開する方針を採るようになった。

しかし情報を公開するとはいっても、「ウイグル人の暴動」の映像を提供するなど公式の情報発信の一方で、電話やインターネットなどを遮断して現地と直接連絡が取れないようにしていたのであるから、より効果的な報道統制を狙ったものといえるだろう。

ウルムチの事件の翌日にはカシュガルやグルジャ(イリ)などにも飛び火し、軍、武装警察による厳戒態勢が敷かれている。7日に中国公安当局は、過去にウイグル人の人権問題や漢人との格差問題について当局批判をしていた、北京の中央民族大学副教授でウイグル人のイリハム・トフティ氏を拘束した。

現在、現地政府が認定する死者の数は少しずつ増えており、百数十人となっているが、その大部分を漢人の死者であると言っている。しかし世界ウイグル会議が得た情報では、5日以降現在まで、事件の時に武装警察によって殺された者、漢人暴徒の報復行為によって殺された者など、最大で3000人のウイグル人が虐殺されたとみられる。

また、今でも多くのデモ参加者らは逮捕されて監獄に閉じ込められ、拷問を受け、死に至っているはずである。

現在中国当局は情勢が安定し、ネットなどの規制を徐々に解除しており、「暴動」はほぼ鎮圧できたとやっているが、ウイグル人の中に残る不満や自民族の存続の危機意識は解消されておらず、問題を先延ばしにしているだけである。

暴力的手段によって不満を押さえつけるやり方は、少数民族に対してだけではなく、天安門で見たように漢人に対しても同様である。

このような残忍な虐殺を繰り返している隣国があることを日本人には理解して頂きたい。中国政府への抗議の声をあげ、そして日本政府からも抗議の声明を出してもらえるように、アジアにおける民主主義の先進国としての責務を果たして頂きたい。

2009年7月26日 日本ウイグル協会

- テレビでは発言できなかったウイグル暴動の真実(青山繁晴)1/2
- テレビでは発言できなかったウイグル暴動の真実(青山繁晴)2/2




- 日本ウイグル協会
- 1/4シルクロードにおける中国の核実験災害と日本の役割 [桜 H21/3/25]
- 2/4シルクロードにおける中国の核実験災害と日本の役割 [桜 H21/3/25]
- 3/4シルクロードにおける中国の核実験災害と日本の役割 [桜 H21/3/25]
- 4/4シルクロードにおける中国の核実験災害と日本の役割 [桜 H21/3/25]

・置きピラ、ポスティング用のチラシの集積場です。是非、ご活用下さい。

- 「手作りチラシ集積サイト」
- 「09年総選挙に向けたチラシ・ツール集積場」

●【自民党ネットCM】プロポーズ篇

- テキサス親父が喝！日本の誇りと愛国心 Japanese pride and patriotism
- 民主党に一回、やらせてみようか。
- すべての日本人に告ぐ！?(民主党の正体)
- 【直言極言】消え去る日本 [H21/7/18]
- 在日コリアン達の本格的な日本侵略がはじまっていることに気づいて下さい (ねえ、知ってたあ！)

カテゴリ: 政治も フォルダ: 指定なし   

コメント(6)

タグ: ウイグル 東トルキスタン ウルムチ事件 イリハム・マハムティ ペマ・ギャルポ 石平 永山英樹 青山繁晴 西村幸祐

コメント(6)

コメントを書く場合はログインしてください。



Commented by **crea77s** さん
花うさぎさん、こんにちは。

2009/07/27 12:00

レポートお疲れさまです。
大変有意義かつ、詳細で、大変臨場感あふれるものでした。
エントリにアップしていただきありがとうございました。

この事件の発端というか、裏は、G8欠席のために作られた事件だったのでしょうか？
わたしの浅はかな感から、そこにどうしても結びつくような気がしてなりません。
ウイグル地区での長年にわたる核実験等についても、発言があるのかと思っ
ていましたが、そこまでは無かったですね。

古森さんや、阿比留さんのとろで紹介されていた、ラビア・カーディルさん緊急講演会に
応募されているようですが、その時も、この記事同様にレポートをお願いできません
か。

非常に興味が有り、行ってみたいのはやまやまなのですが、
当日あいにく仕事で残業予定があり、どうにもできないので、よろしくお願
いします。

お忙しければ、結構ですが。無理を言って申し訳ないです。
失礼します。



Commented by **花うさぎ** さん
To crea77sさん こんにちは。

2009/07/27 12:50

>この事件の発端というか、裏は、G8欠席のために作られた事件だったのでしょうか？

いや、さすがにそれはないと思います。胡錦濤が急遽帰国した理由については、共産党
内部の権力闘争説、あるいはウイグル対応説と意見が分かれているようですが、正直言
って私もどちらが正解か判断つきかねています。

>そこまでは無かったですね。

2009/07/27 15:25

はい、パネリストが六人いて一人ずつ発言していったらそこまで踏み込めなかった(時間の都合で)という感じでした。

>その時も、この記事同様にレポートをお願いできませんでしょうか。

もちろんそのつもりなんです、メール申し込みの返信がまだありません。ひょっとしたら来日そのものが中止になる可能性(支那中共の妨害)もあるので、じっと待っている状態です。



Commented by **crea77s** さん

To 花うさぎさん

>いや、さすがにそれはないと思います。胡錦濤が急遽帰国した理由については、共産党内部の権力闘争説、あるいはウイグル対応説と意見が分かれているようですが、正直言って私もどちらが正解か判断つきかねています。

少し深読みし過ぎてしまったのでしょうか。

G8の焦点は、[中国](#)にとって不利なものばかりですから、いつもの得意技を効かしてきたのかと思ってしまいました。

>はい、パネリストが六人いて一人ずつ発言していったらそこまで踏み込めなかった(時間の都合で)という感じでした。

それだけ、短時間では語り尽くせない、根の深い問題なんですね。

>もちろんそのつもりなんです、メール申し込みの返信がまだありません。ひょっとしたら来日そのものが中止になる可能性(支那中共の妨害)もあるので、じっと待っている状態です。

なるほど、[中国](#)というか、中華っていう国は、未だに文明が止まっている国なんですね。西太后の頃とやっていることが変わっていませんね。

時代は進んでも、人のこころが成長していないんですね。

恐らく、中華の当事者にとっての正義であり、善意のもとに動いているんでしょうけど、価値観の差でこうして理解しがたい結果を生んで、人の人生や、世界情勢を簡単に動かして行っているんですね。

多分、理論で言っても、中華人にとって、何か大きく人生観を突き動かされる何かを経験するまでは、考えは変わらないんでしょうけれども。

それでも、声を張り上げて行かなければ、いつまでも変わりませんし、でものれんに腕押しですしね。やりきれないものですが、がんばって行くしかありませんね。



Commented by **花うさぎ** さん

To crea77sさん

2009/07/27 17:00

>G8の焦点は、[中国](#)にとって不利なものばかりですから、いつもの得意技を効かしてきたのかと思ってしまいました。

シンポジウムの映像が出てくると判るはずですが、青山繁晴氏の分析は「ウイグル原因説」です。たしか300人の起業家を引き連れて経済力にものを言わせて各国にチャイナパワーを見せつける予定、つまり檯舞台になるはずだったと指摘しています。

それが急に帰国したのは旧ソ連崩壊で各国が独立したときの状況を徹底的に勉強して、非常な危機感を感じたのだろう、といっておりました。

>多分、理論で言っても、中華人にとって、何か大きく人生観を突き動かされる何かを経験するまでは、考えは変わらないんでしょうけれども。

それが「共産主義」の恐ろしさですね。



Commented by [花うさぎさん](#)
・ニュース [阿比留さんの記事](#)

2009/07/27 22:50

【09衆院選】民主 [マニフェスト](#) 政策集に比べ“左派”色控えめ

[民主党](#)が27日発表した衆院選のマニフェスト([政権公約](#))は、党の政策集「INDEX2009」で濃厚だった左派・リベラル的色彩が薄められている。これは政権奪取後を見据え、現実路線にかじを切った結果といえる。

一方、永住外国人への地方参政権付与など有権者の反発が大きい政策は、選挙で争点化しないよう隠したいとの思惑も透けてみえており、慎重に見極める必要がありそうだ。
([阿比留瑠比](#))

「われわれが選挙で国民に示して約束するのは[マニフェスト](#)であり、政策集は公約ではない」

[民主党](#)の政調幹部はこう強調する。さしずめ、[マニフェスト](#)は選挙で掲げる「旗印」で、政策集は表立っては主張しない「本音」という位置づけだろうか。

今回のマニフェストでは、[鳩山由紀夫](#)代表が繰り返し意欲を表明してきた米軍 [普天間飛行場](#) (沖縄県宜野湾市)の県外(海外)移設が盛り込まれていないなど、外交・安全保障面の現実路線ぶりが目立つ。

米側の理解と協力が不可欠な「[米軍再編](#)や米軍基地のあり方の見直し」についても、政策集では「進める」と明言していたものを「見直しの方向で臨む」と柔らかい表現に改めた。

また、外国人参政権に関しては、政策集で結党時の「基本政策」だとして早期実現をうたっているのにマニフェストでは全く触れていない。同じく早期実現を主張していた選択的夫婦別姓も抜け落ちた。

国会図書館に過去の日本の「罪」を追及する恒久平和調査局を設置▽元慰安婦に謝罪と金銭支給を行うなど [慰安婦問題](#) への取り組み▽ [靖国神社](#) に代わる国立追悼施設の建立ーなど論議を呼びそうな諸課題も [マニフェスト](#) には入っていない。



Commented by [花うさぎさん](#)
(続き)

2009/07/27 22:51

このほか、マニフェストでは表現がぼかされているものもある。例えば、「子育て・教育」の項には「教員免許制度を抜本的に見直す」とあるが、「これは日教組の運動方針に沿って [安倍晋三](#) 内閣で成立した教員免許更新制を廃止するという意味」(元神奈川県教組委員長で元社会党参院議員の小林正氏)だという。

ただ、人権侵害救済機関の創設は [マニフェスト](#) に残った。 [内閣府](#) の外局として人権侵害救済機関をつくるというもので、 [民主党](#) の支持団体である [部落解放同盟](#) の主張と一致している。

[マニフェスト](#) に明記していなくても [民主党](#) 政権誕生後には優先的に実行される政策もあるとみられる。マニフェストと政策集の双方を重ね合わせて実態を判断した方がよさそうだ。

<http://sankei.jp.msn.com/politics/election/090727/elc0907271814006-n1.htm>